

《別 紙》

1. 開催年月日 令和7年7月22日(火)開催
2. 開催場所 エフエム西東京 1階 会議室 (東京都西東京市芝久保町5-8-2)
3. 出席委員
委員総数 7名
出席委員 4名 下川隆委員長 松川紀代実委員 村田志保委員 小松真弓委員
欠席委員 3名 山本恒安委員 野澤秀夫委員 賀陽智之委員
(事前に意見書提出あり)

放送事業者側回答者

佐藤芳幸(代表取締役) 大塚誠(統括部長 局長) 青木崇(制作室) 高橋絵里(制作室)

4. 議 題

審議番組 : ひろがる! ダイナマイトマンデー
パーソナリティ: 第1・3週 防災士 青木紘子
第2・4週 シンガーソングライター 肩幅ひろし
毎週月曜日17:00~19:00田無駅改札横のまちテラススタジオから「ひろこ」と「ひろし」が
隔週で出演し、最新の地域や防災情報・お気に入りの音楽などを発信する2時間生放送番組。
ギター片手に生歌もあり、ダイナマイトトークで暴走する2時間生放送番組です。

5. 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音した音声を聴いていただき審議。

6. 審議内容

審議委員意見

- ・ 防災士の青木さんよりテーマが防災ということで、分かりやすく噛み砕いて説明があり、とても好感がもてて良かった。
- ・ 防災というテーマもあり明るく話すのは難しいかと思われるが、もう少し明るく聞きたかった。
- ・ 肩幅さんに関しては普段聞いているリスナーの方ならわかるだろうが、初めて聞いてわからない言葉があり疎外感を感じた。
- ・ 冒頭で「収録でお届けします」とあったが、曲が終わってすぐ収録の音声 flowed ので一言『ここからは収録したものをお届けします。』などがあればよかった。
- ・ 淡々と話されている印象があり、単調に聞こえてしまった。
- ・ 一方肩幅さんはテンポもあり、ユーモアや人柄が伝わる番組だったので肩肘張らずに聞いた。
- ・ 生放送なのでスタジオの前にいる方とのやり取りも伝わりよかった。
- ・ テーマが『5月病対策』とあったが、月曜日に放送とありとてもいいテーマだと思った。
- ・ 地元の方がゲストに来ていただけるというのはコミュニティーエフエムらしくいいなと思った。
- ・ 防災カフェの紹介で豆知識の伝え方上手く、頭で想像でき、聞いていてなるほどと納得できた。
- ・ 防災カフェは地域包括支援センターがハブになっていると着目点が素晴らしい。
- ・ 西東京市は公民館でも防災カフェを行っているので、地域の情報なども交換出来たら良いと思った。
- ・ 気楽にカフェへ集まってもらい自分自身防災への知識を蓄えながら、地場野菜を使用したランチを提供している。というところに青木さんがよく着目し、良い取材をされたなと思った。
- ・ 肩幅さんが上手いなと思ったのはリスナーからのメールをその場で読めなくても、次の週で読むことでリスナーはメールを送ったらちゃんと読んでくれると安心感を持つ。
- ・ ガラス越しのスタジオの前に来たリスナーとキャッチボールができており、このスタジオの良さを音を通じて送り届けているなと感じた。
- ・ キャッチーな言葉遊びが上手く、子供でも楽しめて聞けると思った。
- ・ BGMも肩幅さんの今の状況に合わせたBGMになっており、ラジオを通して今の肩幅さんの状況がわかるようだった。
- ・ 最後にスポンサーを募っていたのも良いと感じた。
- ・ 番組タイトルを聞き、防災の話がされるのかと思ったら夕飯の話などが出て、番組としてのコンセプトがわからなくなった。
- ・ 特殊詐欺に関してはもう少し局として放送を入れたほうが良いと感じた。

- ・ 肩幅さんは良い言い方をするとテンポが良いが、年代によっては早口に聞こえて聞きづらい場面がある。
- ・ 防災に関する内容は、社会的な関心が高く、リスナーに貢献できる番組だと思う。
- ・ 本編が始まるまでの導入部分がやや長く感じられた。
- ・ 「ギター弾き語り」のコーナーでは音質がもう少しクリアになると、より一層楽しめるかと思う。
- ・ 一人でノンストップで話されるのは本当にすごいと思った。
- ・ 肩幅ひろしさんが時折ボケを挟まれるので、もしツッコミ役の方がいらっしゃったら、さらに魅力が引き立つのではないかと感じました。

局の回答

- ・ 今回のひろがる！ダイナマイトマンデーはもともと生放送番組があった枠がなくなり、地域の情報や鉄道などの生の交通情報を引き続き伝えたいと思い4月から始まったバラエティー番組です。青木紘子さんは小金井市を中心に活動されていることもあり、広く情報を集める意味も含め積極的に小金井市の情報を多く入れていただきました。肩幅さんに関しては情報番組向けではなくとてもコミュニケーションの取り方が上手な方でそこに面白さもあり、異色の組み合わせではありますが、何か良い化学反応が起こるのではと思います。起用し、距離の近い放送を心がけています。エフエム西東京、コミュニティ放送局として防災というところが一つの軸となるかと思います。いざ何か起こった際、普段聞いていないラジオは改めて聞こうとならないと思われます。いつも番組を聞いていたら今西東京市はどうなっているのかと聞くきっかけになるかと思われます。明るいバラエティー番組を通して色々な方に聞いてもらえる受け口となり、より正確性のある情報の伝え方の練度を上げていきたいと思います。

7. 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日
なし
8. 審議機関の答申または意見の概要の公表
自社放送 事務所への備え置き、自社HPでの掲載
9. その他の参考事項
なし